

院内研修 結核について



当院では、定期的に全職員（医師・看護師・薬剤師・作業療法士・精神保健福祉士・栄養士心理士・介護福祉士・助手・事務職員・・・等）を対象に研修会を実施しています。平成 25 年 2 月 8 日（金）に、院内感染対策の一環として中部福祉保健所より講師をお招きして、「結核の知識と発生対応」というテーマで約一時間講義をして頂きました。

今回の研修会には約 80 人が参加し、終了後のアンケートから「結核の事を知識として知って良かった。極端に怖がったりしがちだが、知識を得る事で、安心、予防対策に繋がるので知る事の大切さを感じた」「初期対応など学べて良かったです」「リスクのある感染症を学ぶことは大切だと思います」「定期的に結核の研修会を企画して欲しい、最近の動向や傾向、対策等について把握しておく必要があると思う」「N95 マスクについての話を聞いて大変有意義でした」等、多くの意見や感想が聞かれました。

結核は、今でも 1 日に 58 人の新しい患者が発生し、6 人が命を落としている感染症であること、決して、過去の病気ではないこと等、改めて学ぶ事が出来ました。この学びを活かして今後の院内感染対策に取り組んでいきたいと思ひます。